

**平成28年度 郡山ヘアメイクカレッジ
学校関係者評価報告書**
学校関係者評価報告責任者: 学校長 土屋郁子

1. 学校関係者評価委員

- ①菅野 功一 株式会社菅野二郎商店 代表取締役
- ②金山 美弥子 あざみ美容院代表 卒業生
- ③土屋 郁子 郡山ヘアメイクカレッジ 校長

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第1回委員会 平成28年 12月 26日 本校会議室
- 第2回委員会 平成29年 2月 27日 本校会議室

3. 学校関係者評価委員会報告

①学校の教育目標

「専門教育」と「社会的応用力の育成」に加え、これからの時代に必要不可欠であるグローバルスタンダードな観点から「国際化教育」「情報化教育」を深め、幅広い視野と確かな応用力を備えた創造性豊かな人材育成を目標とする。

- 確かな専門技能と応用力を身につけ、美容界で活躍できる人材を育成する。
- 自ら挑戦し、課題を発見し、これを解決する能力を持ったリーダー(けん引者)となる人材を育成する。
- 社会貢献・地域貢献の精神を持ち、幅広い社会性を備えた人材を育成する。

②本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

【平成28年度に定めた課題事項】

- 基本となるマナー 返事 あいさつが出来る。
- 学力、技術面においての個人差を少しでも無くし全体的なレベルアップを計る。
- 専門技能と応用力を身に付け美容業界で望む人材を育成する。

(1)教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・学校の理念・目的・育成人材は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	③	2
・学校における職業教育の特色は何か	4	③	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4	3	②	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

①課題

- ・常に社会、業界のニーズの把握が必要
- ・学校関係者及び地域社会に学校理念、特色の周知が更に必要
- ・学生1人1人の能力及び取り組み方に応じた対応、また目標とするものの明確化

②今後の改善方策

- ・教職員は、社会、他校の情報にもっと耳を傾けていく
- ・教職員は、情報を収集のため社会ニーズを常に意識する必要がある
- ・学校関係者及び学生保護者に対し学校理念、特色等について行事・ホームルーム等を活用し伝えていく
- ・学生1人1人に目標(資格取得・就職等)を明確にして達成しようとする意識付けをする

・教育目標の実現(マナー教育など)のため、サロン現場実習を活用し、学生の対応力、応用力の重点指導をする

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

<学校における職業教育の特色は何か>について

- ・国家試験の合格だけではなく、就職してすぐに働ける様にしてもらいたい。(即戦力化育成):菅野氏
- ・就職した店に合わせた独自の修業をしなければならない。(対応力、応用力の育成):金山氏
- ・挨拶の仕方を第一歩とし接客マナーの教育を強化してほしい。:金山氏

(2)学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	③	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	③	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

①課題

- ・職員、教員の減少により校務の役割が重複しているため、なかなか計画等が進まない
- ・校務業務の効率化をさらに推進する
- ・パソコンでの様々なデータ管理がうまくいかない時がありデータの活用に支障が発生する

②今後の改善方策

- ・校務分掌と責任の明確化、業務の整備、効率化を図る
- ・担当者の情報処理能力の向上と共有データの整理、管理の徹底化を図る
- ・学生指導に時間をとり就学意欲向上と退学防止に取り組むこととする

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

<情報システム化等による業務の効率化が図られているか>について

- ・校務の効率化で、学生指導に支障が無いよう改善してほしい:菅野氏

(3)教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	③	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産業連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1

・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	②	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	③	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	③	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
・職員の能力開発のための研修が行われているか	4	③	2	1

①課題

- ・教育に対する外部関係者の評価を取り入れる
- ・教員の兼務により、現在のカリキュラム推進が精一杯であり指導体制の再構築が必要
- ・学生による授業評価を得ての改善点への対応
- ・関連分野、その他ニーズへの対応のための指導講師の確保

②今後の改善方策

- ・職業実践専門課程認可に向けての取り組みにおいて、今後改善していく
- ・人員不足の解消、役割分担の効率化を図る
- ・教員自身の授業運営見直し、スキルアップ研修の充実化を推進する
- ・各分野の能力開発のための研修参加
- ・外部意見を取り入れる工夫として、美容協会会員との会議や懇談会を通して意見集約し対応を図ることとする

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

<職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか>について

- ・一般社団法人郡山美容協会と連携し更に外部からの評価、意見を取り入れ活用してほしい: 金山氏

(4)学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・就職率の向上が図られているか	④	3	2
・資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

①課題

- ・卒業後3年間での離職率(10年前よりは減少している)が把握されていない
- ・学生の就職活動で、校内での情報収集や活動が主となってしまっている
- ・通信教育生の退学者が多い
- ・資格取得率の向上に努めてはいるが、学業不振(実技)の学生の対応が遅れてしまう事

②今後の改善方策

- ・卒業生の動向調査を定期的に行うなど(違う目的でやっていたことがあるが)
- ・学生への意識付け(主体的、能動的行動、訪問企業の自己開拓)に重点を置き就職率100%の推進を図る
- ・学修査定をもっと早い時期に実施、早い時期からの補習

- ・定期的に学習成果チェック項目の設定などで、学業不振学生を早期に把握し対応する

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

<就職率の向上が図られているか>について

- ・オールマイティな人材を求める:菅野氏
- ・教えと現実には差があり、それに対応できる応用力が必要となる:金山氏
- ・能動的な学生が少ないので、様々な状況、授業などで意識改善が必要:菅野氏

(5)学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

①課題

- ・高校と学生生活状況の連携が必要
- ・学生相談に関し学生への対応は適切であるが、保護者との連携が行われない場合がある
- ・卒業生の離職率をふまえて就職の斡旋をすること

②今後の改善方策

- ・高校訪問やガイダンスを利用し出身高校との連携を図る
- ・1年の授業参観の他に2年次にも実施し保護者連携を図る
- ・就職活動の際、郡山へアメイクカレッジ企業協力会の活用で就職の早期内定化を推進する
- ・個々の学生との接触機会を増やすこととし、またアンケートで、意見を述べやすい運営(直接授業を担当していない教職員がアンケート実施するなど)で学生意見の活用を図ることとした

③特記事項

- ・卒業生はいつでも就職情報を閲覧できる

④学校関係者評価委員コメント

<学生相談に関する体制は整備されているか>について

- ・アンケートでも隠れて見えない意見があると考えるべき、学生が望んでいること、意見を聞く工夫が必要 : 4
- ・真面目な学生が多い : 金山氏

(6)教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4	③	2
・学内外の実習施設・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1

・防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1
--------------------	---	---	---	---

①課題

- ・防災、救護の知識がもっと必要
- ・避難時の経路の再確認、避難用具の使用法

②今後の改善方策

- ・新校舎の建築、最新教育設備の導入を図ることとした
- ・防災計画・災害対応マニュアルの作成をすることとした

③特記事項

- ・実習の実施

④学校関係者評価委員コメント

<施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか>について

- ・最新の教育環境づくりが重要である。学生のアンケートから設備に満足していると感じた：菅野氏
- ・最新の教育環境の学校に入学を決めたいという話を聞いた：金山氏

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	③	2	1

①課題

- ・少子化の影響で学生が集まらない

②今後の改善方策

- ・他の学校との違い、特色などを有効な媒体を活用しアピールする
- ・新校舎、設備新設に伴い学校全体のPRの強化、HPやネット関係の利用推進する
- ・新コース案内、教育成果など高校訪問を通して本校に対する理解の促進を図る

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

- ・次年度新校舎になるので入学を決めたという話を複数聞いた：金山氏

(8)財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	②
・予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	③	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

①課題

- ・入学生の減少による財政の状況
- ・今後の学生募集状況(増やす)

②今後の改善方策

- ・校外、校内においての教育活動をPRの材料に活かし募集に努める

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

<財務について会計監査が適正に行われているか>について

・適正に処理されている。：菅野氏・金山氏

(9)法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	②	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	①

①課題

・取り入れた自己評価の検証

②今後の改善方策

・教職員として自分を見つめ直す機会をもうける

・より良い学校運営に役立てる

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

<法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか>について

・法令順守が学校存続の基本 :菅野氏

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2
・学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4	③	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

①課題

・施設等からの要望があっても、選択コースや学校の授業上、相手の指定する日時に応えられない

・法定授業時間等を考えると平日の学生ボランティア活動を認めるのは困難

②今後の改善方策

・声を掛けて頂ける所などには前もって対応できる日程等をお知らせしておく

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

<学生のボランティア活動を奨励・支援しているか>について

・社会貢献は大切なこと、成るべく応えてほしい :金山氏